

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	布花原 明子	職名	教授	学位	修士 (看護学)
----	--------	----	----	----	----------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動 公衆衛生看護学教育

研 究 課 題
公衆衛生看護学において、地域の健康課題の解決に向けた公衆衛生看護活動の方法、発展要因との関連、支援課題について考察する。また、保健師基礎教育の効果的な教育方法について考察する。 2022 年度は「新型コロナウイルス感染症の健康危機管理業務において求められる迅速に対応するための保健師の判断と行為」をテーマに共同研究を開始した。

担 当 授 業 科 目
公衆衛生看護方法論Ⅰ (前期) 公衆衛生看護活動演習 (前期) 公衆衛生看護学実習 (前期) 公衆衛生看護方法論Ⅱ (後期) 公衆衛生学 (後期) 災害看護学 (後期) 看護総合演習・実習 (前後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【公衆衛生看護方法論Ⅰ】前期</p> <p>公衆衛生看護の対人支援に関する知識、理論、技術について講義を中心に授業を実施した。毎回、講義のキーワードを提示し、基本的な知識、理論を講義した後に事例を提示し、学生が知識や理論を事例に活用して考える機会をつくり、理解を深められるように工夫した。教材動画コンテンツを活用し、講義、ワークを組み合わせ進めた。</p>
<p>授業科目名【公衆衛生看護活動演習】前期</p> <p>実習地域のアセスメントを行う「地域診断演習」と、実習地域に生活する人々を対象とした公衆衛生看護技術の演習を組み合わせ授業を実施した。学生が演習期間を通じて、実習グループメンバーとの協力関係を形成し、実習への意欲や保健師としての姿勢・態度を養うよう意図して進めた。4月～6月上旬までの集中講義では毎回の進度が速いため、学生の進捗状況を把握し授業時間外にも質問対応ができるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【公衆衛生看護学実習】前期</p> <p>北九州市保健所及び3区役所の実習指導を実施した(5週間)。今年度は、コロナ禍以降、新たにデジタル化された保健事業を体験する機会も取り入れるなど、多様な支援方法の実験を経験できるよう工夫した。また、学生は自ら指導者との関係を形成し、能動的に実習に取り組めるよう、巡回時に学生の状況について実習指導者と情報交換し、随時対応できるよう工夫した。</p>
<p>授業科目名【公衆衛生看護方法論Ⅱ】後期</p> <p>地域全体を対象とした公衆衛生看護の活動方法について授業を実施した。地域診断では、理論を用いて一部を演習した。学生が、集団として地域を捉えるための統計データの見方や、将来を予測し予防の視点でデータをアセスメントすることの必要性について、実践的に理解できるよう工夫した。また、外部講師に実際の地域診断と事業展開事例を紹介いただいた後に事業計画の講義を行うなど理解が深まるよう工夫した。</p>

授業科目名【公衆衛生学】後期

新設科目である。看護師・保健師・養護教諭を目指して入学した1年生にとっては、耳慣れない公衆衛生である。なぜ看護学生が公衆衛生を学ぶのかについて、例えば新興感染症等の健康問題に対して公衆衛生が果たす役割について、また身近な生活環境と健康との関連を実感できるようなトピックスを授業の導入に用いて興味を引くように工夫した。講義後に提出される授業の学び及び質問へのフィードバックは随時行った。

授業科目名【災害看護学】後期

災害看護に関する基本的な知識と実践活動を紹介し、学生が卒後の進路を意識して、災害看護への関心、意欲を高めることができるように工夫した。地域、病院、災害支援組織における災害看護活動の実際と看護の役割について、災害看護の活動経験をもつ医療者を講師に招き実践的な授業を進めた。

授業科目名【看護総合演習・実習】

学生が実習企業の健康課題に対する現状と対策の分析を行い、解決策を立案し、プレゼンテーションを実践した。産業看護の現場で生じている事象に関して、企業から関連データを提供いただき分析を行う。また、企業での取り組みについて、また勤労者の意識について関係者からインタビューを行い、導き出した課題に対する施策案を提示した。今年度は、指導保健師に加え、管理者（工場長、人事課、産業医）もプレゼンテーションに参加いただき、多方面から学生への助言をいただき、学生は充実感を得たようであった。教員と指導者とは、学生のPDCA展開について、日々情報共有しながら役割を分担し、効果的な指導を目指した。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本公衆衛生学会	一般会員	1994年4月～現在に至る
日本看護科学学会	〃	2001年3月～ 〃
日本地域看護学会	〃	2001年4月～ 〃
日本看護教育学学会	〃	2003年4月～ 〃
日本公衆衛生看護学会	〃	2014年4月～ 〃
	第12回日本公衆衛生看護学会学術集会企画委員	

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市保健所運営協議会	委員	2009年4月～現在に至る
北九州市介護保険認定審査会	審査委員	2017年4月～現在に至る
北九州市社会福祉法人審査会	審査委員	2020年4月～現在に至る
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	講師	2012年4月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

1. 就職委員 2022年4月1日～2023年3月31日
 - ・委員会出席（全4回）
 - ・推薦受験希望者の選出
 - ・進路登録カードと就職（進路）報告書の周知と回収
 - ・卒業生アンケート 回収率34.1%（前年度19.6%）
 - ・病院からの来学者対応
2. 国家試験対策担当 2022年4月1日～2023年3月31日
 - ・年間計画の立案及び運用
 - ・国家試験対策会議開催（全11回）
 - ・保護者面談対象学生のマネジメント
 - ・強化学習対象者への個別支援
3. 学科将来計画プロジェクト（学力向上リーダー）2022年9月～2023年3月31日
 - ・分科会開催（全4回）
 - ・看護師国家試験4年間対策プラン作成及び3年次知識確認試験運用案作成
 - ・看護学科中間報告
4. 学科将来計画プロジェクト（科目運用）2022年9月～2023年3月31日
 - ・分科会出席
5. 西南女学院大学 保健師ネットワーク KANAME 活動支援
 - ・卒業生保健師交流会及び学部生との交流会の開催（12月3日）